

赤潮診断カード

受理年月日	平成30年5月15日					
情報提供者	宇和島漁協・水産研究センター					
出現状況	発生年月日	場所		発生範囲		
		宇和島湾		下記のとおり		
被害状況	－	無	プランクトンモニタリング結果 (単位: cells/ml)			
種類 ／地点番号 (カレニア遺伝子量調査地点名)	①小池 (U-1)	②九島裏 (U-2)	③野島 (U-3)	④吉田 (U-4)	⑤荒網代 (U-5)	⑥第二出荷場 (U-6)
	0-10m	0-10m	0-10m	0-10m	0-10m	5m
5m水温(°C)	18.3	18.7	18.2	18.5	18.1	18.8
珪藻類	82	702	320	230	434	11,729
〈有害赤潮プランクトン〉						
カレニア・ミキモトイ	0	0.02	0	0.012	0.002	0
コクロディニウム・ポリクリコイデス	0	0	0	0.05	0.024	0
ヘテロシグマ・アカシオ	0	0	0	0	0	1
シヤトネラ属	0	0	0	0	0	0
プロロセントラム・デンタタム	0	0	0	0.006	0.006	3
〈貝毒プランクトン〉						
アレキサンドリウム・カテネラ	0.002	0	0.004	0.002	0	0
ギムノディニウム・カテナータム	0	0	0	0.004	0	0
ディノフィシス属	0	0.002	0	0.004	0.002	0
指導状況	<ul style="list-style-type: none"> ・①～⑤0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10m層を等量混合(1,000倍濃縮し、1ml検鏡) ・⑥クロロフィル極大層であった5m層を採水。(1ml検鏡) 					
	<p>〈危険濃度〉</p> <p>カレニア・ミキモトイ 1,000cells/ml</p> <p>コクロディニウム・ポリクリコイデス 300cells/ml</p> <p>ヘテロシグマ・アカシオ 50,000cells/ml</p> <p>プロロセントラム・デンタタム 赤潮を形成するが、魚介類への影響は無いとされている</p>					



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平29情複 第1762号)
本紙を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。